

2023 年度事業報告

I. 調査研究事業部門

2023 年度事業計画に基づき、嗜好品と人間・社会に関する心理学・社会学等の研究手法を用いた調査研究を実施すると共に、過去の調査研究によって得られた成果についての学会発表や論文投稿を行った。また、たばこ史・たばこ産業史上有意義な文献資料等の情報収集、論考の取り纏めに取り組んだ。研究助成については、嗜好品に関する人文・社会科学分野の研究を促進し学術の振興に寄与することを目的に、大学等の研究者への助成を引き続き実施した。

これらに関する考察等については財団機関誌や研究誌等の定期出版物、TASC ウェブサイトを通じて広く普及啓発を図った。

1. 調査研究事業

当年度に実施した調査研究活動は次のとおりである。

(1) 嗜好品と人間・社会に関する調査研究

① 心理学の手法を用いた調査研究

- ✓ 2021 年度に実施した調査研究の論文が査読付き学術誌国際学術誌の BMC Psychology に掲載され、TASC ウェブサイト等で周知した。
- ✓ 2023 年度調査研究として、「嗜好品(コーヒー)摂取とレジリエンスに関する実験」をオンラインにより実施した。
- ✓ 嗜好品と人間・社会の関わりに関する研究意義について広く啓発させることを目的に専門誌へ論考掲載、研究イベント等で発表した。

② 社会学の手法を用いた調査研究

- ✓ 2018-2019 年度に実施した調査研究の論文が査読付き学術誌のソシオロジに掲載され、TASC ウェブサイト等で周知した。
- ✓ 2023 年度調査研究として、「嗜好品と人間・社会に関する調査研究」についての社会調査を実施した。

(2) たばこ史・たばこ産業史研究

たばこに関わる大学等研究機関の研究者や在野の研究者等との連携を図り、たばこ史・たばこ産業史上有意義な文献資料等の情報を収集し、論考の取り纏めを行った。

(3) 研究関連情報の整備

調査研究事業への効果的な活用を図るため、TASC 所蔵の書籍や研究報告書等諸情報の継続的な資料整備を行った。

2. 研究助成事業

- ✓ 2022 年度分(10 件)並びに報告延期となった 2020 年度分(2 件)および 2021 年度分(2 件)を含め研究結果の報告会を実施し、助成研究報告書を作成した。また、当該報告書を国会図書館に納本するとともに、要約版と全編を TASC ウェブサイトに掲載した。
- ✓ 2023 年度採択(8 件)のうち 1 件については研究者の研究計画変更により期間を 2024 年度末まで延期。
- ✓ 2024 年度分の応募があった助成研究について審査した結果、6 件を採択した。

3. 普及啓発事業

当年度に実施した普及啓発活動は次のとおりである。

(1) TASC 定期出版物の発行

- ① 研究誌「談」127 号～129 号発行
- ② 機関誌「TASC MONTHLY」568 号～579 号発行
- ③ 研究誌「たばこ史研究」157 号～158 号発行
- ④ 「2022 年度事業概要」発行

(2) TASC ウェブサイトによる情報発信

調査結果や助成研究の成果、定期出版物等の情報を適時掲載し、発信情報の充実を図った。また、情報技術の進展による利用機器の多様化に対応するため、TASC ウェブサイトを改修した。

(3) 雑誌での企画広告掲載

月刊総合誌『文藝春秋』にて、学識者の嗜好品に関する考察等を発表するインタビュー企画広告を 6 回実施した。

4. 受託調査研究事業

現代社会の諸問題等を研究領域としている学識者の探索を実施した。

II. 博物館事業部門

2023 年度の入館者数は 54,580 人(対前年度比 120%)となった。これは、新型コロナウイルスの感染拡大前に比べて 8 割弱(対 2019 年度比)に相当する入館者数である。なお、2023 年度は、5 月上旬から当館の運営をほぼ通常に戻して活動することができた一年となった。これまでどおり、事業計画に基づき、安定した博物館運営と充実した情報発信力の維持強化に向けて、以下のとおり取り組むとともに、来館者の利便性を意識した施策(運営変更)を実施した。

1. 安定かつ充実した博物館運営

- (1) これまで蓄積してきた各種知見を踏まえ、業務・運営面の課題等への対応を適時適切に行い、質の高い入館者サービスの維持に努めた。
- (2) JT との協業体制を維持し、人財育成および博物館において伝承すべき機能の補完・充実に取り組むとともに、各種研修等の受け入れを行った。
- (3) コスト意識を持ちつつ、メリハリある資源配分により計画性ある運営を行いつつ、職員のワーク・ライフ・バランスを重視した職場環境の改善に努めた。

2. 調査研究の着実な推進

2023 年度以降の展示企画に向けたテーマや以下の領域・分野を中心に、「たばこ塩の歴史と文化」および収蔵資料に関する調査研究を着実に推進した。

- (1) たばこ文化の発生と伝播
 - ✓ たばこ文化の発生と伝播
 - ✓ 世界のたばこ文化
- (2) 江戸時代の文化とたばこ
 - ✓ 浮世絵・版本
 - ✓ 江戸時代の各地の葉たばこ生産
 - ✓ 江戸・明治期の喫煙具
- (3) 近現代のたばこ文化・産業史
 - ✓ 近現代のたばこ文化・産業史
 - ✓ 戦前期の満州・朝鮮・台湾他、旧植民地関係たばこ調査
 - ✓ 葉たばこ生産に関する調査、外部との連携
- (4) 塩の文化・サイエンス
 - ✓ 塩利用や塩生産の文化
 - ✓ 塩のサイエンス
- (5) 産業・企業系博物館論についての調査研究
 - ✓ 産業文化博物館コンソーシアム(略称、COMIC)や各種学会への参加

3. 情報発信力の維持強化

(1) 情報発信活動

① 特別展等の開催

- ✓ 2023 年度は当初計画どおり、「たばこ屋大百科 あの店頭とその向こう側」を含めて特別展を 5 回、各々の展示に関連する講演会(計 9 回)等を開催し、質の高い情報発信に努めた。

② イベント・講座

- ✓ 1階ワークショップルーム等を利用して、JT 生命誌研究館 30 周年「生きものの不思議を楽しむ」等のミニ展示を 3 回開催した。
- ✓ 「古文献・古文書を読む会」をほぼ月 1 回のペースで 10 回開催した。

③ 刊行物

- ✓ 2023 年 7 月に「2022 年度版 たばこと塩の博物館年報第 38 号」を発行した。

④ 常設展示・視聴覚ホール・図書閲覧室

- ✓ 常設展示の展示替え

江戸時代のたばこ文化コーナーは、時節に合わせた展示替えを 6 回行った。コレクションギャラリーは、秋山珠理作品展「殻の風景画」を始め、特別展と一部連動するかたちで同 5 回を実施した。

- ✓ 視聴覚ホール

主に特別展に関連する講演会の会場やメディア対応で活用した。なお、講演会は、引き続き、事前申込・抽選方式での開催とした。

- ✓ 図書閲覧室

特別展に合わせて開架図書を変える等、来館者サービスの向上に努めた。

(2) 収蔵資料等のデータベース化と活用

- ✓ 収蔵資料等のデータベース化を進め、来館者へのサービス向上を図った。

(3) 周知・広報活動

① 所在地・アクセス案内

- ✓ 公式ホームページ、最寄り駅でのポスター・出口案内板の掲出、電柱広告ならびに消火栓標識広告等による案内を行った。

② 特別展・イベントの周知

- ✓ ニュースリリース、公式ホームページ、SNS や新聞等の多様なメディアを戦略的に活用して、特別展・イベント等の周知を行った。
- ✓ 展示期間中においても、公式ホームページや SNS に展示解説や見どころをアップして、興味関心のあるお客様が楽しめるコンテンツを作成した。

③ 他施設等との連携

- ✓ 東京を中心とする美術館・博物館等 101 施設の共通入場券&割引券「ぐるっとパス 2023」に参加した。

4. 地域社会との良好な関係維持

すみだ企業博物館連携協議会等への参加を通じ、近隣博物館との意見交換や交流を積極的に実施した。

5. 資料整理・保管・収集等

(1) 資料整理の継続、保管体制の維持

- ✓ 収蔵資料の整理を順次進めるとともに、収蔵庫を含めた館内全体の定期的な環境モニタリングおよび総合的有害生物管理(略称、IPM)の体制を維持した。

(2) 寄贈資料への対応

- ✓ 寄贈資料については、適切なリファレンスを行った上で、資料検討委員会において受入可否の評価を行い、275 件を受入・登録した。

(3) 資料購入・収集

- ✓ 収蔵資料の更なる充実を図るため、17 世紀中頃までに制作されたと考えられる「邸内遊楽図屏風」等の優先度や必要性の高い資料を 380 件購入した。
- ✓ たばこの新製品に関するパッケージやポスター等の実物・データの資料収集を継続して行った。

6. その他の活動

(1) 職員の教育・研修

- ✓ 関連団体・各種学会の研究・研修会等に積極的に参加した。

(2) 来館者サービス向上

- ✓ 入館締め切り時間の弾力的運用(16:30~17:00 までの間、入館可能)。
- ✓ 65 歳以上の方の割引適用に関する運用を緩和(自己申告制)。
- ✓ 入館料のキャッシュレス化(1 月 28 日より運用開始)

(3) ミュージアムショップ

- ✓ オリジナル商品の製作・販売に加え、特別展毎に関連商品の販売を行い、定番商品とともに来館者から高い評価を獲得することができた。

(4) 博物館実習の受入

- ✓ 6 大学 6 名を受け入れ、収蔵資料の整理・保管や展示に関する基礎的な知見・スキルを指導した。